



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成29年 4月27日

お知らせ

同時資料提出先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

国土交通省 中国地方整備局 平成29年度 風水害対策訓練を実施します

国土交通省中国地方整備局では、梅雨、台風等による風水害に備えるため、災害状況等の迅速かつ正確な収集と伝達及び的確な指揮・対策の実施など、防災体制を万全に期するため、管内において下記のとおり災害対策訓練を実施します。

○ 訓練日時 平成29年4月28日(金) 9:30~15:00

(太田川河川事務所、広島国道事務所、広島港湾・空港整備事務所が所管する地域で堤防決壊、河道内閉塞、法面崩落などの甚大被害が発生したと想定し、本局との情報伝達訓練を実施)

○ 訓練場所

- ・本局(災害対策本部) 広島合同庁舎2号館8階 災害対策室
- ・事務所等(災害対策支部) 管内の各事務所及び管理所内に設置(25支部)

○ 主な訓練内容(別紙「3. 主な訓練スケジュール」を参照)

○ 取材対応(別紙「4. 取材について」を参照)

○ 訓練のポイント

- ① 新年度、梅雨時期を前に情報伝達システムや基本事項を再確認
- ② 地方自治体や関係機関との情報共有(画像配信、情報交換)、支援体制の強化(TEC-FORCE 及びリエゾンの派遣)
- ③ 早期情報収集のためのヘリコプター(愛らんど号)による広域情報収集
- ④ 記者発表など広報対応
- ⑤ 災害対策用機械の出動
- ⑥ 災害応急対策業務に関する協定業者等の出動
- ⑦ 土砂災害緊急調査及び緊急情報の提供
- ⑧ 災害対策基本法に伴う道路啓開など

○ 問い合わせ先
国土交通省中国地方整備局
電話番号(082)221-9231(代表)

(担当) 企画部 総括防災調整官 えすみ のぶよし 江角 信良 (内線2119)

企画部 緊急災害対策調整官 みやたけ ひでのぶ 宮武 英信 (内線3125)

(広報担当窓口) 広報広聴対策官 さかや まさゆき 坂屋 政之 (内線2117)

企画部 環境調整官 あだち つかさ 足立 司 (内線3114)

(別紙)

訓 練 概 要

1. 訓練参加機関及び参加者

中国地方整備局及び管内全事務所、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市、境港管理組合、陸上自衛隊中部方面総監部、第六管区海上保安本部、第七管区海上保安本部、第八管区海上保安本部、中国運輸局、国土地理院中国地方測量部、気象庁広島地方气象台、NHK広島放送局、(一社)中国建設弘済会、(財)河川情報センター、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)河川ポンプ施設技術協会、(一社)海洋調査協会、(一社)日本潜水協会、事務所の災害応急対策活動に関する基本協定締結業者および「中国地方の防災に関する連絡会」構成機関

2. 訓練想定

4月19日21時にマリアナ諸島付近の海上で発生した台風第4号は、4月23日03時にサイパン島の西海上に進み大型で非常に強い勢力となり、24日15時に沖の鳥島の東海上で中心気圧925hPa、最大風速50m/s、暴風半径280km、強風半径東側850km、西側600kmと最大の勢力となった。台風は、大型で非常に強い勢力のまま、日本の南海上を北北西に進み、27日朝には南西諸島から九州地方の広い範囲が強風域に入り、27日夜遅くには鹿児島県や宮崎県が暴風域に入った。台風は、九州地方の西岸に沿って北に進み、28日06時過ぎには中心気圧960hPa、最大風速35m/s、暴風半径東側240km、西側200km、強風半径東側750km、西側650kmの大型で強い勢力で長崎県諫早市付近に上陸した後、九州北部地方を通過し、28日夜遅くには山陰沖の日本海に達した。

この間、本州付近に停滞した前線に向かって台風周辺から暖かく湿った空気が流れ込み前線活動が活発となり、広島県を中心に1時間に60mm前後の非常に激しい雨が降り、広島県では4月27日の日雨量が150mmを超える大雨となった。

その後、前線は低気圧の東進とともに衰弱したが、北上する台風の影響により中国地方各地で再び暴風、大雨となり、特に山口県東部から広島県西部を中心に多いところで、4月28日の日降水量が300mmを超える大雨となった。また、瀬戸内海沿岸を中心に最大潮位偏差50cm以上を観測した。

これに伴い中国地方整備局管内では、堤防決壊、河道内閉塞、法面崩落など甚大災害が発生した想定により訓練を実施する。

(別紙)

3. 主な訓練スケジュール

時刻	実施内容等
4月28日 9:30~	<ul style="list-style-type: none">・災害対策本部（警戒体制）・局長訓示・訓練設定説明・気象概要説明（気象庁）
9:45	・非常体制発令 太田川(矢口第一)で計画高水位以上の洪水発生予想
9:50頃~	・道路法面崩落発生 (国道185号：呉市川尻地内)
10:05頃~	・大規模土砂災害発生 (水内(みのち)川 河道内閉塞)
10:10頃~	・堤防漏水報告 (太田川:右岸7k付近)
10:20頃~	・通行規制開始 (国道185号：呉市川尻地内（法面崩落）)
10:50頃~	・通行止開始 (国道54号：太田川漏水による冠水対応)
11:00頃~	・河川災害第1報 (太田川決壊)
11:30頃~	・対応方針報告 (高潮被害、河道閉塞、太田川決壊)
11:50頃~	・派遣要請 (排水ポンプ車：太田川決壊箇所) ・現地対策本部設置 (大規模土砂災害（河道閉塞）)
	<昼休憩>
13:00頃~	・応急復旧着手報告 (太田川堤防決壊箇所) ・海上の流木回収要請 (広島湾：海洋環境整備船の緊急出動)
13:10頃~	・道路啓開開始 (国道54号：太田川決壊付近)
13:20頃~	・現地からの画像伝送 (太田川：右岸7k付近決壊箇所)
14:00頃~	・現地からの画像伝送 (国道185号：法面崩壊箇所)
14:10頃~	・庁からの映像・音声配信 (河川・道路・港湾空港)
14:25頃~	・本部会議
14:50頃	・訓練終了 ・講評

※ 訓練の進行により、実施時間・内容を変更する場合があります。

4. 取材について

- 1) 取材については中国地方整備局及び管内全事務所のみとし、その他の関係機関への取材はご遠慮願います。
- 2) 訓練は全て公開で実施します。訓練中の撮影は可能です。ただし、訓練の妨げにならないよう、担当者の指示に従ってください。
- 3) 庁内への入館は、別途入館の手続きが必要となりますので、余裕をもって来庁して下さい。
- 4) 訓練の当日、防災体制をとる必要が生じた場合は、訓練を中止する場合があります。

平成27年度 風水害対策訓練の実施状況

(※ 平成28年度の風水害対策訓練は「熊本地震」の対応で中止)

<訓練想定>

- 山陰沖に停滞している前線と台風の影響により、中国地方各地で暴風、大雨となり、特に広島県東部、山口県東部の沿岸において暴風や大雨、波浪に見舞われた。
- 中国地方整備局管内では、芦田川堤防決壊や堤防決壊による国道2号（福山市）の通行止め、徳山下松港の施設の損傷による甚大災害が発生。



尾藤中国地方整備局長による指示



訓練状況



広島地方気象台による
気象状況に関する情報提供



各班からの報告



衛星通信車による被災状況報告



テレビ会議システムを活用した
被災状況報告